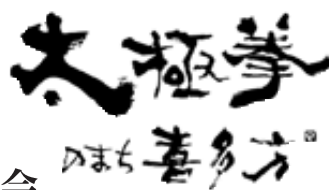


「喜多方冬の太極拳講習会」

県内外から500人の愛好者が参加して

太極拳のまち—福島県喜多方市で講習会と交流会



太極拳をとおして「健康・福祉・教育・交流」の調和のとれたまちづくりを目指す「太極拳のまち」福島県喜多方市（白井英男市長）は、2月24・25日、市内の押切川公園体育館で「第3回喜多方冬の太極拳講習会」を開催した。この講習会は「太極拳のまちづくり」事業の一環として太極拳の一層の普及・交流拡大をめざし、日本連盟の協力のもと実施するもの。



石原泰彦講師による「太極養生功」

講習会第1日目の24日、は石原泰彦講師（日本連盟理事）による「太極養生功」と孔祥東講師（日本連盟強化委員会コーチ）による「24式太極拳」の講習会が、翌25日は石原講師による「24式太極拳レベルアップ講習

（初段以上対象）」と孔講師の「32式太極剣」の講習会が行われ、遠くは熊本、山口、大阪、静岡など県外からの参加者を含め、およそ500人が参加した。

25日の講習会後には、孔祥東講師による模



「32式太極剣」を指導する孔祥東講師

範演武が行われ、その流れるような素晴らしい演武が観客を魅了した。同時期に開催されていた「蔵のまちきたかた冬まつり」に加えて喜多方市太極拳協会のお茶コーナーなど太極拳講習会参加者と市民の交流の場もセッティングされ、盛会のうちに終了した。